

とっとり県政だより

2021(令和3)年3月号 通巻731号 毎月1日発行 各世帯配布

2021

島根原子力発電所の事故を想定し、災害対応の訓練を行う県職員



目次

P2 特集

「いざ」に備え、 意識高めよう

～いつでも起こり得る地震に対策を～

P5・6 県政トピックス

- 3月は「自殺対策強化月間」
- 地域猫の管理、県が支援
- 県立図書館の所蔵をネット公開

県政参画電子アンケート新規会員を募集中

「県政参画電子アンケート」は、県政の課題について、県民の皆さんの意向を速やかに把握するためのインターネットを通じたアンケート調査。アンケートに回答した会員には、漏れなく図書カードを進呈します。会員資格や登録方法などの詳細は、ウェブページでご確認ください。

☎ 県庁県民参画協働課

☎ 0857-26-7848 F 0857-26-8112

<https://www.pref.tottori.lg.jp/enquete/>

enquete/



DATA

県人口 / 550,651人〔男 263,371人、女 287,280人〕
世帯数 / 221,661世帯 (2021年1月1日現在推計)

「いざ」に備え、意識高めよう

いつでも起こり得る地震に対策を

今年3月、「東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)」(2011年)の発生から10年を迎えます。この間、県内でも鳥取県中部地震(16年)が発生。身近で地震の脅威を実感させられました。災害はいつ起こるかわかりません。この機会に「備える意識」を高めることが大切です。



落石が相次いで道をふさぎ、神社は無残につぶれた(2000年、鳥取県西部地震)



土壁が剥がれ落ちた倉吉市の店舗(2016年、鳥取県中部地震)

原子力防災や被災者支援

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の際、東京電力福島第一原子力発電所では、巨大な津波により、電源設備や非常用発電機が使えなくなりました。その結果、原子炉の冷却ができなくなり水素爆発が発生し、放射性物質が放出さ

れる重大事故が起きました。周辺地域の住民の中には、長期間の避難生活を強いられた上、いまだに元の暮らしを取り戻せない人が多数います。

島根原子力発電所から30km圏内に、境港市全域と米子市の一部が含まれる鳥取県は、2011年12月、原発事故に備えていち早く、中国電力株式会社との安全協定を締結しました。その後も地震による原発事故を想定した訓練の定期的な実施や、「原子力防災ハンドブック」の発行など、さまざまな原子力防災の取り組みを進めています。

県内でも16年には、マグニチュード6.6の県中部地震が発生し、約1万5千棟の家屋が損壊しました。その際に、「震災復興活動支援センター」が中心となり、被災者に寄り添った「災害ケースマネジメント」を実施。これは、生活の再建が困難な被災者一人一人の状況やニーズを聞き取り、解決策を提案して復興を支援するもの。住宅の修繕が進まない世帯のサポートを行いました。今後の災害に備えて全県での展開を目指します。

意識高め、いま一度確認を

県中部地震のほか、さかのぼれば県内でも鳥取県西部地震（2000年）、鳥取地震（1943年）と、大きな地震が発生しており、明日にでも身近で起こる可能性がります。建物の耐震化や家具の転倒防止などを、いま一度確認しましょう。日頃の備えが命を守ります。一方、新型コロナウイルスが収束していな

い今、避難所の感染症対策は必須。各市町村では、間仕切りや消毒液など、避難所の感染症対策の強化を進めています。家庭でもマスクや消毒液などの衛生用品を災害時に備えておくとう安心です。

問 県庁危機管理政策課(防災関係)

☎0857-267584
県庁原子力安全対策課
(原子力防災関係)
☎0857-267974

災害時もコロナ対策を実践



鳥取市危機管理課
参事 岸本 誠さん

鳥取市は昨年5月、コロナ禍での災害を想定した訓練を実施しました。その際には、避難者受け入れ時の検温、避難者同士の距離の確保、発熱者専用スペースを設けるなどの対策を講じ、手順や方法を確認、問題点を探りました。この訓練を踏まえて、感染症に対応した避難所開設マニュアルを作成し、各地域の自主防災組織に配布。地区防災研修会でも感染対策を周知しています。

さらに避難所の密を避けるため、私立学校や民間宿泊施設などと協定を締結し、避難場所の拡充を進めています。



(左) 避難者同士が一定の距離を保てるように、区画を計測する職員たち
(右) 段ボールベッドの組み立て練習。じかに床に寝るより、飛沫が付着したほこりを吸い込む危険性が減る(写真提供=鳥取市)

原子力事故を想定、訓練や啓発活動

境港市全域と米子市の一部が2012年、国の原子力災害対策指針でUPZ(緊急防護措置を準備する区域)(※)に定められました。そのため、県は13年4月に「原子力安全対策課」を設置し、体制を強化。原子力に関する安全対策や普及啓発を進めています。

※原子力施設の状態や緊急時モニタリング(放射線または放射能の測定)の結果に基づき、屋内退避や避難などを準備する区域。

■原子力防災訓練

UPZ圏内の住民は、原発事故が発生した場合、事故の状況に応じて早急な屋内退避や避難が必要です。そこで県はUPZ設定に先行して、11年から、島根県や市町村と合同で原発事故を想定した防災訓練を実施。12年からは地域住民も参加し、避難手順を確認する訓練も行っています。



避難する住民の車の放射線量を放射線測定器で測定する訓練

■原子力防災講演会・現地研修会

放射線の基礎知識や放射線被ばくによる人体・環境への影響などを学ぶ講演会・研修会を、年間を通じて開催しています。原子力災害への理解を深めることが、災害時の適切な対応や行動につながります。

■原子力防災ハンドブック

原子力災害の特徴や放射線の基礎知識、日頃からの備えなどをできるだけ分かりやすくまとめた「原子力防災ハンドブック」を作成し、各戸に配布しています。令和3年版は3月下旬に配布予定。ウェブページでも確認できます。(A4版28頁)



問 県庁原子力安全対策課
☎0857-26-7974 ☎0857-26-8805
<http://www.genshiryoku.pref.tottori.jp/?view=6424>





公益財団法人とっとり県民活動
活性化センター
(震災復興活動支援センター)

主任企画員 **白鳥 孝太**さん

震災復興活動支援センターでは、鳥取県中部地震で被災した家の屋根修理や生活の困り事などの相談を受けて、復興から取り残される家庭がないよう支援しています。

地震から4年が経ち「震災はもう終わった」と思われることもありますが、昨年末の時点でブルーシートが残っている家屋は、約150棟。経済的な困窮や地域内での孤立、相談できる家族や友人がいないなどの理由で修理が進まない家もあります。

県が3年前から始めた「災害ケースマネジメント」では、各家庭を訪問して困り事を伺い、県や市町村、社会福祉協議会などと連携しながら、一人一人に合った解決策を検討して提案。それぞれの困り事に

一人一人に合わせた支援で復興につなげる

応じて専門の人につなぎます。屋根の修理は、ボランティア団体に加え、瓦工事や建築の専門企業の協力で、本格的な修理以外に簡易な修繕の提案が可能になりました。福祉の専門職や弁護士、ファイナンシャルプランナーに相談に乗ってもらう場合も。

活動する中で「訪問しても不在で会えない」「県の被災者支援制度として理解してもらえない」など、困難もありますが、近所の人や民生委員などの声かけによって、役場を通じて私たちに取り次いでもらえます。地元の企業、さまざまな職業や専門職の人、地域住民など、人々の協力を結び付けて、復興につなげることが私たちの役割だと考えています。



被災者宅を戸別訪問する白鳥さん(写真提供=公益財団法人とっとり県民活動活性化センター)

家具類の転倒・電気火災の防止を

1995年の阪神・淡路大震災^{あわじ}では、家屋の倒壊や家具類の転倒で多くの人が死傷しました。下のイラストを参考に、家庭にある家具の固定を確認してください。また、地震による火災の過半数は電気が原因。揺れを感知したら自動的に電気を止める「感震ブレーカー」を設置しましょう。



住まいの耐震化へ費用を補助

2000年に建築基準法が改正され、木造住宅の耐震化基準が強化されました。これ以前に建てられた木造住宅は、耐震性が不足している可能性があります。県は、市町村と連携し、耐震診断や耐震改修などの費用を補助しています。詳細はウェブページでご確認を。

■助成対象

2000年5月31日以前に建築された一戸建て住宅

■助成額

- 耐震診断／診断費用の3分の2以内
(上限8万9千円)
(設計図書がある場合は7万2千円)
- 改修設計／設計費用の2分の1以内
(上限12万円)
- 耐震改修工事(一戸建て)／
工事費用の5分の4以内
(上限100万円)

問 市町村担当課または県庁住まいまちづくり課

☎0857-26-7697

☎0857-26-8113

<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1051159.htm#itemid1051159>



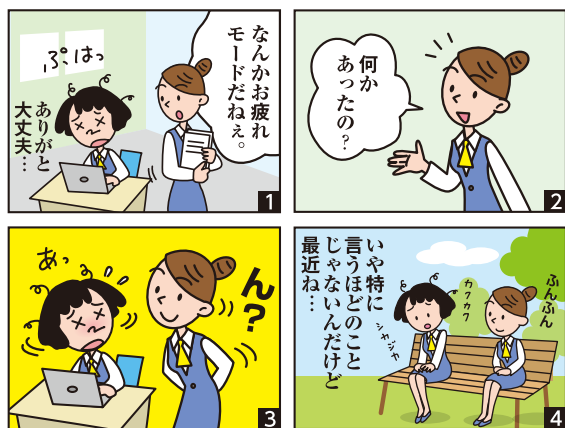


気付きと理解で防ぐ自死 ～3月は「自殺対策強化月間」～

①「ゲートキーパー」とは?

悩んでいる人に気付いて寄り添うように話を聴き、必要な支援につなげて見守る「ゲートキーパー」(詳細はウェブページ)。いつもと様子が違うとき、そっと声を掛け、ゆっくり話を聴きましょう。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/221921.htm>



不安や困り事を抱え、生きづらさを感じている人がいます。県では、「誰もが自死に追い込まれることのない鳥取県」の実現を目指し、気付きと理解を深める取り組みを行っています。

自死を考える人は悩みながらもサインを発しています。身体の不調、酒量の増加、食欲の減退などです。例えば、身体の不調は、眠れない、寝ても疲れが取れないなどの「睡眠障害」として表れます。このような症状が続く場合は、うつ病や不眠症の可能性があるかもしれません。また、悩んでいる人のサインに気付き、声を掛け、話を聴くなどして見守る心のサポーター「ゲートキーパー」(①)の存在も重要です。特別な資格は不要。「どうしたの?」「困ったことはない?」などと声を掛け、その人の気持ちに寄り添い、必要な支援につなげることが大切です。悩みを抱える人にとって、自

②相談窓口

県立精神保健福祉センター(平日8:30~17:15)

☎0857-21-3031

鳥取市保健所(平日8:30~17:15)

☎0857-22-5616

中部総合事務所福祉保健局(平日8:30~17:15)

☎0858-23-3147

西部総合事務所福祉保健局(平日8:30~17:15)

☎0859-31-9310

とっとりSNS相談(LINE)

LINE ID[@tottorisns]



鳥取いのちの電話(毎日12:00~21:00)

☎0857-21-4343

自殺予防いのちの電話

(毎日16:00~21:00、毎月10日8:00~翌日8:00)

☎0120-783-556(フリーダイヤル)

分のことを気に掛けてくれるゲートキーパーは大きな支えになります。県では、専門的に相談できる窓口(②)を設けています。1人で抱え込まずに、まずは電話・面接・SNS(LINE)などでご相談ください。3月は「自殺対策強化月間」。卒業や転勤などで生活環境が変化し、普段よりストレスや不安を抱えやすい時期でもあります。みんなで支え合い、心と命を守りましょう。

身体の不調はこんなことから

十分な睡眠は心と体の栄養です。次のような症状が続くと、うつ病や不眠症の可能性あります。放っておくと、心と身体は十分に回復しません。1人で悩まず、まずは相談してみましょう。

〈眠れていますか?〉

- なかなか寝付けない。
- 一度夜中に目が覚めると、再度眠るのに時間がかかる。
- 何をしても楽しく感じない。気分が落ち込んで悪いことばかり考える。



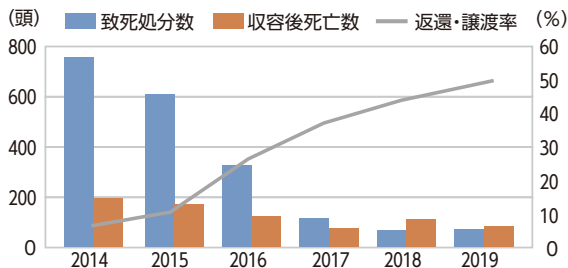
☎ 県庁健康政策課 ☎0857-26-7227 F 0857-26-8143 ✉ kenkouseisaku@pref.tottori.lg.jp
<https://www.pref.tottori.lg.jp/115508.htm>





暮らし良くする活動知って ～地域猫の管理、県が支援～

収容猫の処分頭数と返還・譲渡率の推移



出典：「令和元年度鳥取県の犬および猫のデータ」

地域猫活動の主な内容とその目的

活動内容	目的
不妊去勢手術をする	野良猫を増やさない
規則正しい給餌(時間と場所を決める)・片付け	猫頭数の把握・環境美化
トイレの設置・掃除	ふん尿被害を減らす



問 県庁くらしの安心推進課

☎0857-26-7877 📠0857-26-8171

✉kurashi@pref.tottori.lg.jp

https://www.pref.tottori.lg.jp/274138.htm



飼い主のいない猫を適正に管理し、住民の暮らしを守る「地域猫活動」。県は「鳥取県動物の愛護及び管理に関する条例」を制定し、この活動をサポートしています。引き取りや保護によって県に収容される動物の約7割を猫が占めています。近年は譲渡活動が功を奏し、致死処分は減少。しかし、依然として飼い主のいない子猫は多く、収容後に死亡することが少なくありません。一方で、

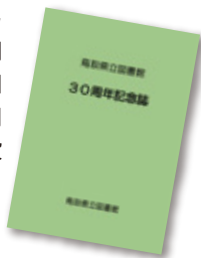
ふん尿や鳴き声、餌やりに関する相談も県に多数寄せられ、野良猫の放置は地域のトラブルの要因に。そこで県は、同条例に基づき、野良猫に不妊去勢手術を施し、周辺美化に配慮しながら住民の理解の下で管理する活動を、市町村と共に支援。猫への感情は人によってさまざまでありますが、自分の地域を住み良くするため、活動を始めることから始めませんか。

デジタル化で幅広く閲覧 ～県立図書館の所蔵をネット公開～

とっとりデジタルコレクション公開記念シンポジウム

- 日時 / 3月14日(日)午後1時～3時45分
- 場所 / 県立博物館 講堂(鳥取市東町)
- 内容 / 講演：「デジタルアーカイブでつなげる、あなたのまち」
ディスカッション：「『とっとりデジタルコレクション』の可能性と今後の展望」
- 手話通訳 / あり
- 定員 / 先着80人
- 問い合わせ先へ事前申し込みが必要

開館30周年の記念誌を、3月15日に発行します。県立図書館と各市町村の図書館で閲覧が可能です。また、昨年10月には一般財団法人自治総合センターと共催で、開館30周年記念シンポジウムを開催。公共図書館の役割と機能を改めて検証しました。



問 県立図書館

☎0857-26-8155 📠0857-22-2996

✉toshokan@pref.tottori.lg.jp

http://www.library.pref.tottori.jp/info/post-164.html



県立図書館では、いつでも、どこでも、誰でも、インターネットを通して歴史や文化に関する資料を閲覧できるシステム「とっとりデジタルコレクション」の公開を3月から始めました。県立図書館は江戸時代の絵図や和本、郷土調査など地域独自の資料を数多く所蔵。中には劣化が激しいため、常時閲覧が困難なものも。これらをデジタル化してインターネットで公開。常時

利用できる環境を整備しました。加えて、県立博物館や県立公文書館、県埋蔵文化財センターが保管するデジタル資料も閲覧できます。3月14日には、デジタルコレクションの可能性と展望を話し合うシンポジウムを開催。ぜひお越しください。昨年10月に開館30周年を迎えた県立図書館。さらに県民の暮らしと仕事に役立つ図書館を目指します。



読者の声 (1月号の意見・感想から)

- 県政トピックスにある、発熱の相談体制の手順が分かりやすい。いざというときに確認できるように、早速冷蔵庫に貼りました。(50代)
- 「親しき仲にもマスクあり」はとてもいい言葉。親しい人とはついマスクなしで会話がちです。マスク着用を習慣付けたいです。(70代)

- 特集で、新型コロナに対応できる人口10万人当たりの医療機関の数が全国でも1、2位を争う高水準ということを知り、もしものときの不安が少し和らぎました。(60代)
- にんじんワッフルを作ってみました。お店で買ったような食感と風味に感動しました。(20代)

- 自転車の事故では頭部が致命傷になる割合が多いことを自覚し、ヘルメットの着用を心掛けたいです。(60代)



1月号には955人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。



県産品プレゼント

応募締め切り 3月19日(金) 必着

おからケーキミックス(2個)・ドリップ式二十世紀梨ティー【5名】



ケーキミックスは、県産の大豆で作られたおからのみを使用。電子レンジで簡単にカップケーキが作れます。県産二十世紀梨のドライフルーツと皮を配合した紅茶もセットで。

問 ぱにーに湯梨浜店(湯梨浜町旭)
☎ 0858-24-4722 F 0858-24-4723

応募方法 クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見を書き、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブページ応募フォーム <https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>



悩んでいる人のサインに気付き、声を掛け、話を聴くなどして見守る心のサポーター「○○○キーパー」。○に入る文字は次のうちどれでしょう。

ヒントは5頁

①ゴール ②ゲート ③シュー

◎1月号のクイズの答えは「②かかりつけ医」でした。

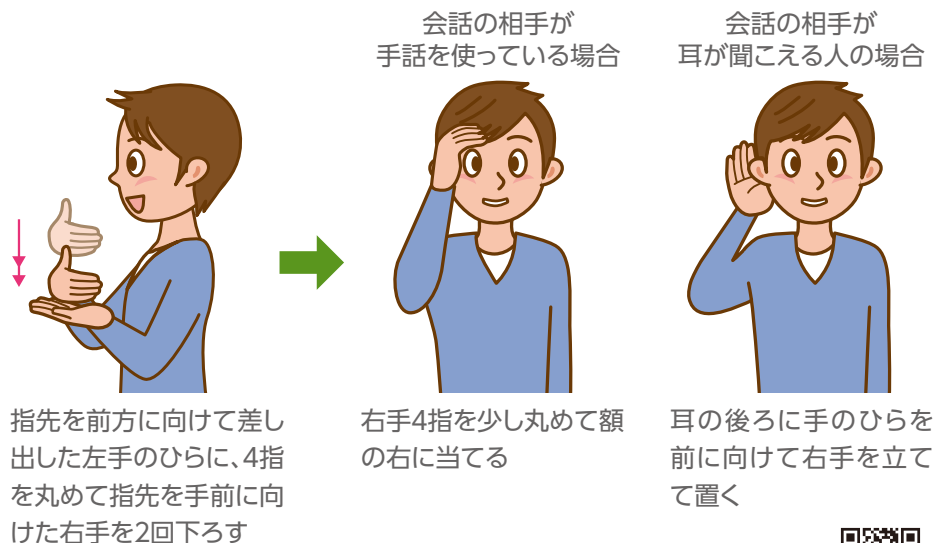


手話を覚えてみよう……「話を聞きます」

進学や就職など生活環境の変化により、ストレスを受けやすい3月。大切な人のいつもと違う様子に気付いたら、声を掛け、話を聞いてあげてください。

〈ミニ情報〉

手話には伝える相手に合わせて表現を変える言葉があります。



監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 ☎0859-30-3720 F 0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>





カメカメおにぎり

かみ応えのある根菜やひじき、黒米などが
入った具たくさんおにぎり。いりごと昆布
の豊かな風味が味わえます。

【協力】倉吉市食生活改善推進員協議会

【材料】(2人分)

黒米……………30g
白米……………270g
水……………390ml
いりこ……………大さじ3
乾燥ひじき……………6g

ニンジン……………1/3本
ゴボウ……………1/5本
(A) 昆布だし……………75ml
しょうゆ……………大さじ3/4
砂糖……………小さじ2
酒……………小さじ1/2

【作り方】

- ①黒米(米とぎ不要)と、といだ白米を炊飯器に入れ、水を加えて30分以上置いてから炊飯する。
- ②水で戻した乾燥ひじきとみじん切りにしたニンジン、ゴボウを鍋に入れ、(A)を加えて煮しめる。
- ③フライパンにいりこを入れて弱火でカリカリになるまで炒め、冷ましておく。
- ④炊きたての①に②③を混ぜ合わせ、おにぎりにする。

歯・^{こう}口腔の健康について

<https://www.pref.tottori.lg.jp/hanokenkou/>



2020年4月から食べる力を育むレシピを掲載中。

県職員・警察官の採用試験実施計画

令和3年度の県職員・警察官採用試験を表のとおり実施します。昨年度より早い日程のものもあります。詳細はウェブページに順次掲載する受験案内をご覧ください。

【警察官】

試験の種類	受験案内掲載	受付期間	1次試験日
A(大学卒業(見込み)者対象)(1回目)	3月下旬	4/2~4/19	5/9(日)
B(A以外)(1回目)			
A・B(2回目)	7月中旬	7/30~8/30	9/19(日)

問 県人事委員会事務局

☎0857-26-7553 ☎0857-26-8119

<https://www.pref.tottori.lg.jp/jinji/>



【県職員】

試験の種類	受験案内掲載	受付期間	1次試験日
大学卒業程度	事務(一般・総合分野)、警察行政	3月上旬	3/5~5/17 6/20(日)
	事務(キャリア総合)	3月上旬	3/5~4/5 5/9(日)
	上記以外の職種	4月下旬	4/28~5/17 6/20(日)
民間企業等経験者対象	3月上旬	3/5~4/5 5/9(日)	
氷河期世代チャレンジ枠	6月下旬	6/28~7/26 8/29(日)	
高卒程度・短大卒程度	7月中旬	7/30~8/16 9/26(日)	
障がい者対象	8月下旬	9/3~9/22 10/31(日)	

お知らせ

厚生労働省鳥取労働局委託事業「高齢者活躍人材確保育成事業」

60歳以上の、健康で働く意欲のある方

シルバー
人材センター

会員募集中!!

あなたの知識・経験・技能を
活かしませんか!

入会申込・お問合せは
あなたの街の
シルバー人材センターへ



シルバー人材センターは
こんなお仕事をしています。

庭木の手入れ、
除草・草刈り、
農作業補助など

生活支援、
介護補助、墓掃除、
屋内外の掃除

施設管理、
駐車(駐輪)場管理など

大工仕事、襖・
障子・網戸張替など

賞状筆耕、宛名書き、
受付事務など

チラシの配布、
経理事務、
パソコンなど



公益社団
法人

鳥取県シルバー人材センター連合会
TEL.0859-37-2531 FAX.0859-37-2537

〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地
URL <https://www.torisilver-ren.com>



※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。